

リハビリテーション科専門医会 新幹事会と今後の活動

リハビリテーション科専門医会幹事会

2012年11月17日、18日に名古屋国際会議場（名古屋市）にて開催された第7回日本リハビリテーション医学会専門医会学術集会の会期中に、専門医会年次総会が開催され、幹事選挙の結果選出された幹事候補者10名が報告されました。その後11月24日の理事会にて幹事として承認されました。新幹事は青柳陽一郎、大串 幹、大田哲生、笠井史人、近藤和泉、下堂蘭恵、中村 健、平岡 崇、藤原俊之、八幡徹太郎です。また11月18日に開催された平成24年度第4回幹事会において幹事長として近藤和泉が選ばれ、副幹事長として大串 幹、笠井史人が指名されました。

専門医会の目的は、1) リハビリテーション科専門医制度の健全な運営と専門医の資質の向上を図る、2) 関係する研究・研修活動に積極的に取り組み、リハビリテーション医学・医療の発展に努めることであります。また専門医会の行う事業は、1) リハビリテーション科専門医会学術集会の開催、2) 専門医の生涯教育、3) 研究・研修活動、4) 専門医会の広報などあります。

前専門医会では大きな取り組みとして1) RJN（リハ女医ネット）のより広範囲な展開、2) 小児および基礎研究 SIG（special interest group）に加えて脊髄障害、切断・義肢、ポリオ後症候群、痙縮治療の新設・発展、3) 専門医としての学生・初期研修医に対する教育および広報活動、4) リハビリテーション医療に必要な電子カルテ機能の検討、6) 専門医間の交流会活動、7) 専門医会実技研修支援、8) 学会のデータベースを活用した研究活動、および9) 学会の50周年記念事業へ協力などに力を注いでまいりました。今回の専門医会では、これら今までの活動を総括し、さらに発展させるとともに、新たな活動として1) 日本専門医制評価・認定機構の専門医制度改革に対する提言および情報発信のためのWGを設置、2) SIG活動へ外部研究資金を導入、3) 同じくSIG活動を通じて多施設共同研究を展開、4) リハビリテーション医学・医療の均霑化を目指して地方会と連携していくことなどを検討しております。これらの活動に関して、今後とも全国のリハビリテーション科専門医の先生方の積極的なご協力をよろしくお願い申し上げます。